

**CASBEE-建築(新築)2014年版**  
**(仮称)サンリヤン六本松 新築工事**

欄に数値またはコメントを記入

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2014年版  
 ■評価ソフト: CASBEE-BD\_NC\_2014(v.2.0)

スコアシート		実施設計段階		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み係数	評価点	重み係数			
<b>Q 建築物の環境品質</b>								
<b>Q1 室内環境</b>								
1 音環境		3.0	0.15	3.7	1.00			3.5
1.1 騒音		騒音レベル: 共用部→40db 住戸部→35db		5.0	0.50	5.0	0.50	
1.2 遮音		1.0	0.50	2.4	0.50			
1.2.1 開口部遮音性能		1.0	1.00	1.0	0.30			
1.2.2 界壁遮音性能		-	-	3.0	0.30			
1.2.3 界床遮音性能(軽量衝撃源)		-	-	1.0	0.20			
1.2.4 界床遮音性能(重量衝撃源)		住戸部のL値: 45		-	-	5.0	0.20	
1.3 吸音		-	-	-	-			
2 温熱環境		1.6	0.35	5.0	1.00			4.3
2.1 室温制御		2.2	0.50	5.0	1.00			
2.1.1 室温		3.0	0.63	-	-			
2.1.2 外皮性能		断熱等性能等級における等級4を満たす		1.0	0.38	5.0	1.00	
2.1.3 ゾーン別制御性		-	-	-	-			
2.2 湿度制御		1.0	0.20	-	-			
2.3 空調方式		1.0	0.30	-	-			
3 光・視環境		2.7	0.25	3.1	1.00			3.1
3.1 昼光利用		4.2	0.30	2.5	0.35			
3.1.1 昼光率		共用部の昼光率: 6.7%		5.0	0.60	2.0	0.50	
3.1.2 方位別開口		-	-	-	-	3.0	0.30	
3.1.3 昼光利用設備		3.0	0.40	3.0	0.20			
3.2 グレア対策		カーテン、庇を組み合わせてグレアを制御している		1.0	0.30	4.0	0.35	
3.2.1 昼光制御		カーテン、庇を組み合わせてグレアを制御している		1.0	1.00	4.0	1.00	
3.3 照度		3.0	0.15	-	-			
3.4 照明制御		3.0	0.25	3.0	0.29			
4 空気質環境		4.0	0.25	3.3	1.00			3.4
4.1 発生源対策		4.0	0.60	4.0	0.63			
4.1.1 化学汚染物質		F☆☆☆☆となる建材をほぼ全面的(床・壁・天井裏の面積の70%以		4.0	1.00	4.0	1.00	
4.1.2 アスベスト対策		-	-	-	-			
4.2 換気		4.0	0.40	2.3	0.38			
4.2.1 換気量		3.0	0.50	3.0	0.33			
4.2.2 自然換気性能		-	-	3.0	0.33			
4.2.3 取り入れ外気への配慮		空気取入れ口は汚染源のない方位に設置し、排気口と異なる方位と		5.0	0.50	1.0	0.33	
4.3 運用管理		-	-	-	-			
4.3.1 CO <sub>2</sub> の監視		-	-	-	-			
4.3.2 喫煙の制御		-	-	-	-			
<b>Q2 サービス性能</b>								
1 機能性		-	0.30	-	-			3.2
1.1 機能性・使いやすさ		2.8	0.40	3.8	1.00			3.6
1.1.1 広さ・収納性		3.0	0.40	5.0	0.60			
1.1.2 高度情報通信設備対応		Gbitクラスのプロードバンド設備を整備している		1.0	-	5.0	1.00	
1.1.3 バリアフリー計画		3.0	1.00	-	-			
1.2 心理性・快適性		3.0	0.30	2.0	0.40			
1.2.1 広さ感・景観		-	-	3.0	0.50			
1.2.2 リフレッシュスペース		-	-	-	-			
1.2.3 内装計画		3.0	1.00	1.0	0.50			
1.3 維持管理		2.5	0.30	-	-			
1.3.1 維持管理に配慮した設計		3.0	0.50	-	-			
1.3.2 維持管理用機能の確保		2.0	0.50	-	-			
1.3.3 衛生管理業務		-	-	-	-			
2 耐用性・信頼性		2.9	0.30	-	-			2.9
2.1 耐震・免震		3.0	0.50	-	-			
2.1.1 耐震性		3.0	0.80	-	-			
2.1.2 免震・制振性能		3.0	0.20	-	-			
2.2 部品・部材の耐用年数		3.2	0.30	-	-			
2.2.1 躯体材料の耐用年数		品確法の「劣化対策等級」において等級2を満たす		4.0	0.20	-	-	
2.2.2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		2.0	0.20	-	-			
2.2.3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		3.0	0.10	-	-			
2.2.4 空調換気ダクトの更新必要間隔		3.0	0.10	-	-			
2.2.5 空調・給排水配管の更新必要間隔		給水管及び汚水・雑排水管にB以上を採用し、Eは使用していない		5.0	0.20	-	-	
2.2.6 主要設備機器の更新必要間隔		2.0	0.20	-	-			

<b>2.4 信頼性</b>			<b>2.4</b>	0.20	-	-	-
1	空調・換気設備		3.0	0.20	-	-	-
2	給排水・衛生設備		3.0	0.20	-	-	-
3	電気設備		3.0	0.20	-	-	-
4	機械・配管支持方法		1.0	0.20	-	-	-
5	通信・情報設備		2.0	0.20	-	-	-
<b>3 対応性・更新性</b>			<b>3.0</b>	0.30	<b>3.1</b>	1.00	<b>3.0</b>
<b>3.1 空間のゆとり</b>			-	-	<b>3.2</b>	0.50	-
1	階高のゆとり	階高2.9m以上3.0m未満	-	-	4.0	0.60	-
2	空間の形状・自由さ		-	-	2.0	0.40	-
<b>3.2 荷重のゆとり</b>			-	-	<b>3.0</b>	0.50	-
<b>3.3 設備の更新性</b>			<b>3.0</b>	1.00	-	-	-
1	空調配管の更新性		3.0	0.20	-	-	-
2	給排水管の更新性		3.0	0.20	-	-	-
3	電気配線の更新性		3.0	0.10	-	-	-
4	通信配線の更新性		3.0	0.10	-	-	-
5	設備機器の更新性		3.0	0.20	-	-	-
6	バックアップスペースの確保		3.0	0.20	-	-	-
<b>Q3 室外環境(敷地内)</b>			-	<b>0.30</b>	-	-	<b>2.6</b>
<b>1 生物環境の保全と創出</b>			<b>1.0</b>	0.30	-	-	<b>1.0</b>
<b>2 まちなみ・景観への配慮</b>		周辺の街なみや景観に対して、標準以上の配慮が行われている	<b>4.0</b>	0.40	-	-	<b>4.0</b>
<b>3 地域性・アメニティへの配慮</b>			<b>2.5</b>	0.30	-	-	<b>2.5</b>
<b>3.1 地域性への配慮、快適性の向上</b>			<b>2.0</b>	0.50	-	-	-
<b>3.2 敷地内温熱環境の向上</b>			<b>3.0</b>	0.50	-	-	-
<b>LR 建築物の環境負荷低減性</b>			-	-	-	-	<b>3.7</b>
<b>LR1 エネルギー</b>			-	<b>0.40</b>	-	-	<b>4.5</b>
<b>1 建物外皮の熱負荷抑制</b>		断熱等性能等級における等級4を満たす	<b>5.0</b>	0.20	-	-	<b>5.0</b>
<b>2 自然エネルギー利用</b>			<b>3.0</b>	0.10	-	-	<b>3.0</b>
<b>3 設備システムの高効率化</b>		BEI 非住宅 1.00 住宅(専有部) 0.86	<b>5.0</b>	0.50	-	-	<b>5.0</b>
集合住宅以外の評価(3a.3b)			1.0	-	-	-	-
集合住宅の評価(3c)		一次エネルギー消費率が90%以下(低炭素基準相当)	5.0	1.00	-	-	-
<b>4 効率的運用</b>			<b>3.5</b>	0.20	-	-	<b>3.5</b>
集合住宅以外の評価			-	-	-	-	-
4.1 モニタリング			-	-	-	-	-
4.2 運用管理体制			-	-	-	-	-
集合住宅の評価			<b>3.5</b>	1.00	-	-	-
4.1 モニタリング			3.0	0.50	-	-	-
4.2 運用管理体制		設備毎の取扱説明書が居住者に手渡されており、省エネに関する住	4.0	0.50	-	-	-
<b>LR2 資源・マテリアル</b>			-	<b>0.30</b>	-	-	<b>3.0</b>
<b>1 水資源保護</b>			<b>2.2</b>	0.20	-	-	<b>2.2</b>
<b>1.1 節水</b>			<b>1.0</b>	0.40	-	-	-
<b>1.2 雨水利用・雑排水等の利用</b>			<b>3.0</b>	0.60	-	-	-
1 雨水利用システム導入の有無			3.0	0.70	-	-	-
2 雑排水等利用システム導入の有無			3.0	0.30	-	-	-
<b>2 非再生性資源の使用量削減</b>			<b>3.4</b>	0.60	-	-	<b>3.4</b>
<b>2.1 材料使用量の削減</b>			3.0	0.10	-	-	-
<b>2.2 既存建築躯体等の継続使用</b>			3.0	0.20	-	-	-
<b>2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用</b>		杭基礎に高炉セメントを採用	5.0	0.20	-	-	-
<b>2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用</b>		-	1.0	0.20	-	-	-
<b>2.5 持続可能な森林から産出された木材</b>			3.0	0.10	-	-	-
<b>2.6 部材の再利用可能性向上への取組み</b>		GL工法の採用	5.0	0.20	-	-	-
<b>3 汚染物質含有材料の使用回避</b>			<b>3.0</b>	0.20	-	-	<b>3.0</b>
<b>3.1 有害物質を含まない材料の使用</b>			3.0	0.30	-	-	-
<b>3.2 フロン・ハロンの回避</b>			<b>3.0</b>	0.70	-	-	-
1 消火剤			-	-	-	-	-
2 発泡剤(断熱材等)			3.0	0.50	-	-	-
3 冷媒			3.0	0.50	-	-	-
<b>LR3 敷地外環境</b>			-	<b>0.30</b>	-	-	<b>3.4</b>
<b>1 地球温暖化への配慮</b>		ライフサイクルCO2排出率:64%	<b>4.4</b>	0.33	-	-	<b>4.4</b>
<b>2 地域環境への配慮</b>			<b>2.9</b>	0.33	-	-	<b>2.9</b>
<b>2.1 大気汚染防止</b>			<b>3.0</b>	0.25	-	-	-
<b>2.2 温熱環境悪化の改善</b>			<b>3.0</b>	0.50	-	-	-
<b>2.3 地域インフラへの負荷抑制</b>			<b>2.6</b>	0.25	-	-	-
1 雨水排水負荷低減			-	-	-	-	-
2 汚水処理負荷抑制			3.0	0.33	-	-	-
3 交通負荷抑制			3.0	0.33	-	-	-
4 廃棄物処理負荷抑制			2.0	0.33	-	-	-
<b>3 周辺環境への配慮</b>			<b>3.1</b>	0.33	-	-	<b>3.1</b>
<b>3.1 騒音・振動・悪臭の防止</b>			<b>3.0</b>	0.40	-	-	-
1 騒音			3.0	1.00	-	-	-
2 振動			-	-	-	-	-
3 悪臭			-	-	-	-	-
<b>3.2 風害、砂塵、日照阻害の抑制</b>			<b>3.0</b>	0.40	-	-	-
1 風害の抑制			3.0	0.70	-	-	-
2 砂塵の抑制			1.0	-	-	-	-
3 日照阻害の抑制			3.0	0.30	-	-	-
<b>3.3 光害の抑制</b>			<b>3.7</b>	0.20	-	-	-
1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策		評価する取組み表の評価ポイントの合計値が3ポイント	4.0	0.70	-	-	-
2 屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策			3.0	0.30	-	-	-